

## 令和6年度第2回 市長と語ろう！うべ未来トーク（会議要旨）

日 時	令和7年1月24日（金） 14時00分 ～ 15時00分
場 所	市長応接室
テ ー マ	居場所づくりについて
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 篠崎市長</li> <li>○ 生活協同組合コープやまぐち（5名） 生活協同組合コープやまぐち理事長、宇部地域理事、宇部地域組合員リーダー、宇部東ブロック地域組織委員、宇部センター長</li> <li>○ 担当課（6課） 市民活動課、廃棄物対策課、地域福祉課、高齢福祉課、健康増進課、こども支援課</li> <li>○ 事務局 広報広聴課</li> </ul>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コープ組合員の集いの場として、「ここクラブ」「ここサークル」といったグループ活動が行われている。大人が気軽に集まり、文化や健康などについて、様々なテーマを学び合える場は、失われつつある社会教育の場になっている。市民の方にも知っていただきたい。（コープ） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶市の高齢者や女性を対象とした市の施策を知っていただく場としてぜひ活用させていただきたい。また、市では地域活動への参加者を増やす取組を進めており、参考にさせていただきたい。（市長）</li> </ul> </li> <li>○ 買い物のサポートが必要な方に、コープの「ここくるサポーター」が有償ボランティアとして宅配支援を行っている。週1回の宅配でも、見守り効果や暮らしへの貢献ができていると実感する一方で、サポートする側の人材確保に苦慮している。令和7年度は、北部地域を中心に人材を探し、広域ネットワークの構築を考えている。（コープ） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶高齢化が進むなか、このようなサポートは大変重要で、引き続き情報共有していただければと思う。市では、ごみの搬出が困難な高齢者や障害者の方に対して戸別に玄関先でのごみ収集を行っている。ごみが玄関前に置かれていないときは、声掛けによる安否確認も行っている。（市長、廃棄物対策課）</li> </ul> </li> <li>○ 女性は子どもから少しずつ手が離れる40代以降、自分の健康について考え始めると思う。今、若い時から健康について意識しておけば良かったと感じている。夏に完成予定の市民交流棟などで、子どもを連れて健診が受けられたら良いと思う。（コープ） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶女性の健診受診率は低く、受診しない理由は「時間がない」ことだった。気軽に受診できるしくみが必要である。（市長）</li> <li>▶年に4回程度、託児ありの集団健診を実施している。通常の健診日と比べて、受診者は多い。情報発信をしっかりと行い、女性の受診につなげたい。（健康増進課）</li> <li>▶令和9年完成予定の「ときわスクエア」は、一時預かり可能な体制にするので、健診場所としても検討していきたい。（市長）</li> </ul> </li> <li>○ 「子育てひろば交流会」は隔年で年1回実施しているが、試験的に店舗の集会室等で毎月開催できるか検討する予定である。令和6年度同様に、子ども服、子育てグッズのリユースフェアを開催し、また、健康ブースを設置し、親御さんに自分の健康を意識する機会を提供できたらと考えている。市にも引き続きご協力をお願いしたい。（コープ） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶市としても引き続き連携させていただきたい。（市長）</li> </ul> </li> </ul>
課 題 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ここサークル」等を参考に、市民の地域活動への参加手法を検討</li> <li>○ 女性が健診を受診しやすい環境やしくみを検討</li> </ul>